

## 地域再生計画

### 1 地域再生計画の名称

第2期日出町創生総合戦略推進計画

### 2 地域再生計画の作成主体の名称

大分県速見郡日出町

### 3 地域再生計画の区域

大分県速見郡日出町の全域

### 4 地域再生計画の目標

高齢化・少子化に起因する人口減少が社会的な問題となる中、本町においては、国勢調査ベースで昭和50年に20,326人であった人口が、昭和60年には22,564人、平成7年には24,433人と増加を続け、平成22年人口は28,221人であったが、企業撤退等の影響により、平成27年の国勢調査時には28,058人と減少に転じたところである。平成27年9月に本町で策定した「日出町人口ビジョン」の推計では、令和42年（2060年）には人口が約2万2千人にまで減少すると推測されているが、同ビジョン中の別の推計では、町民の結婚・妊娠・出産・子育ての希望の実現など自然増を図り、あわせて若者の移住・定住など社会増を政策誘導することで、同時期の人口を約2万7千人程度に維持できるという推測もあるため、自然増・社会増の取り組みにより人口減少に歯止めをかけていくことが重要となる。

人口減少により、生産年齢人口の減少による影響が大きいと予測され、生産力・消費力小さくなると経済活動自体もその規模が縮小すると懸念される。経済活動の規模縮小により、町内の生産性、労働・産業力の低下を招き、さらに「町内事業所の減少⇒地元就職の枠を狭める⇒就労先を求めて転出」という負のスパイラルを生み、人口減少と経済・産業の「悪循環」に陥る懸念がある。

少子高齢化や人口減少などの克服は、長期的・継続的に取り組むべき大きな行政課題であり、これらに対応するため、時代にあったまちづくりと「まち」「ひと」「しごと」のさらなる好循環の確立に向けた取り組みを推進する。なお、本計画に

においては、次の事項を計画期間における基本目標として掲げることとする。

基本目標Ⅰ 「ひじ」で働く ～希望がかなう「しごと」をつくる～

基本目標Ⅱ 「ひじ」が賑わう ～新しい「ひと」の流れをつくる～

基本目標Ⅲ 「ひじ」で育む ～子どもの笑顔を地域で支える「まち」をつくる～

基本目標Ⅳ 「ひじ」が輝く ～郷土愛をもち、誰もが安心して暮らせる「未来」をつくる～

### 【数値目標】

5-2の ①に掲げ る事業	K P I	現状値 (2018年度)	目標値 (2024年度)	達成に寄与する 地方版総合戦略 の基本目標
ア	企業誘致及び創業件数 (件/累計)	(2018年) 34件	(2024年) 40件	基本目標Ⅰ
	町内事業所数 (カ所/年度)	(2018年) 993カ所	(2024年) 1,030カ所	
	町内事業所の従業者数 (人/年度)	(2018年) 8,863人	(2024年) 10,000人	
イ	人口の社会増減 (人/年度)	(2018年) △5人	(2024年) 80人	基本目標Ⅱ
	政策誘導した移住者数 (人/累計)	(2018年) 90人	(2024年) 100人	
	ふるさと寄附金の寄附件数 (件/年度)	(2018年) 1,432件	(2024年) 20,000件	

ウ	日出町で子育てをしたいと思う保護者の割合 (%)	(2018年) 97.0%	(2024年) 99.5%	基本目標Ⅲ
	出生数 (人/年度)	(2018年) 229人	(2024年) 250人	
エ	避難行動要支援者の個別支援計画策定に取り組んでいる自治区数	51区	75区	基本目標Ⅳ
	ネットワーク化して活動する自治区数 (持続可能なコミュニティの形成) (カ所/年度)	(2018年) 0区	(2024年) 20区	

## 5 地域再生を図るために行う事業

### 5-1 全体の概要

5-2のとおり。

### 5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

- まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に関連する寄附を行った法人に対する特例（内閣府）：【A2007】

#### ① 事業の名称

第2期日出町創生総合戦略推進事業

ア 「ひじ」で働く事業 ～希望がかなう「しごと」をつくる～

イ 「ひじ」が賑わう事業 ～新しい「ひと」の流れをつくる～

ウ 「ひじ」で育む事業 ～子どもの笑顔を地域で支える「まち」をつくる～

エ 「ひじ」が輝く事業 ～郷土愛をもち、誰もが安心して暮らせる「未来」をつくる～

## ② 事業の内容

### ア 「ひじ」で働く事業 ～希望がかなう「しごと」をつくる～

魅力ある企業の誘致促進、地域に密着する農林水産業や商工業、インバウンドの増加等により成長が期待される観光・ツーリズムの振興など、様々な分野に魅力ある仕事の間を創出する。また、多様な主体が連携を強化し、住む人や訪れる人たちにとっての新たな地域の魅力を生み出すことで、にぎわいと活力に満ちた街づくりを進める。

#### 【具体的な事業内容】

- ・ 廃校等を活用したサテライトオフィス、インキュベーションオフィス等の誘致促進
- ・ 人・農地プランの策定を推進することで持続可能な営農推進 等

### イ 「ひじ」が賑わう事業 ～新しい「ひと」の流れをつくる～

住環境の整備や地域資源を活用して、住民にとっても訪れる人たちにとっても魅力がある、にぎわいと活力のあるまちづくりを進めることで、交流人口・関係人口など新しい参加・参画のかたちを創出する。

#### 【具体的な事業内容】

- ・ 自然環境を守るための緑化推進、文化財保護など魅力のあるまちづくりを通じた移住・定住施策の促進
- ・ 地場産品の魅力を向上させ、新たな関係人口の創出 等

### ウ 「ひじ」で育む事業 ～子どもの笑顔を地域で支える「まち」をつくる～

子どもを生み育てやすい環境づくり、妊娠期から子育て期にわたる切れ目ない支援体制の強化、また、日出町の将来を担う子どもたちのより良い教育環境を創出する。また、子育ての不安を解消するため、地域の関係者が連携し、子育て支援に関する情報提供や相談機能の充実・強化を図り、子育て満足度の向上に取り組む。

#### 【具体的な事業内容】

- ・ 子ども医療費助成や幼児教育・保育の無償化、3歳未満児保育料の減免拡充などによる経済的支援の充実
- ・ 学校・家庭・地域が連携した子育て環境の整備 等

## エ 「ひじ」が輝く事業 ～郷土愛をもち、誰もが安心して暮らせる「未来」をつくる～

住み慣れた地域への愛着を形成し、誰もが個性と多様性を尊重されつつ、住民が互いを認め合い、支え合う、安全で安心な地域社会を創出する。また新たな移住者を呼び込むために、居住地域の防災力や強靱性を高め、また未来技術の活用や公共交通網のデマンド化など、快適な生活環境の形成に努める。

### 【具体的な事業内容】

- ・自治区の活動をネットワーク化することにより持続可能なコミュニティの形成支援
- ・障がいがある方の地域生活移行を支援し、地域共生社会の構築 等

※ なお、詳細は第2期日出町まち・ひと・しごと創生総合戦略のとおり

### ③ 事業の実施状況に関する客観的な指標（重要業績評価指標（KPI））

4の【数値目標】に同じ。

### ④ 寄附の金額の目安

1,500,000千円（2020年度～2024年度累計）

### ⑤ 事業の評価の方法（PDCAサイクル）

毎年度11月に外部有識者による効果検証を行い、翌年度以降の取組方針を協議・決定する。効果検証後、速やかに日出町公式WEBサイト上で公表する。

### ⑥ 事業実施期間

2020年4月1日から2025年3月31日まで

## 5-3 その他の事業

### 5-3-1 地域再生基本方針に基づく支援措置

該当なし

### 5-3-2 支援措置によらない独自の取組

該当なし

## 6 計画期間

2020年4月1日から2025年3月31日まで